

第3回 議会ICT推進研究会 会議結果

令和4年(2021年)1月14日(金)及び17日(月) 書面会議

《出席者》 岡田 リーダー（議会改革推進会議委員兼会派きぼう）、
小平 議員（議会改革委員兼新政いいだ）、佐々木 議員（議会改革委員兼会派みらい）、
小林 議員（公明党）、市瀬 議員（日本共産党）

【○説明事項、□意見、★決定事項、◎検討依頼事項】

(1) これまでの議会ICTの取り組みにかかる評価・検証について

① 前回の研究会の課題整理等の確認

★特段の意見なく、資料のとおり確認された。

② 課題についての今後の進め方など

【課題1：タブレット端末及びペーパーレス会議システムの操作等の再研修について】

提案内容

タブレット端末及びペーパーレス会議システムの操作等についての再研修に際して、以下の点を踏まえて設定するように提案します。

ア 研修の開催については、議案審査の充実の観点からも、予算議会となる第1回定例会より前に実施することが望ましい。

イ 研修への議員の参加は、任意とする。

ウ 講義型ではなく、操作などのやり方を身に付ける体験型とする。

エ 第1部はタブレット端末の基本的な使い方、第2部はペーパーレス会議システムの基本的な使い方、第3部はLoGoチャットの基本的な使い方、第4部はデータのダウンロード・印刷の方法、といった段階別に組立てる。第4部のデータのダウンロード・印刷の方法については、次の課題2と関連。

メンバー議員の意見

岡田 倫英	意見なし
小平 彰	<ul style="list-style-type: none">再研修は必要。アンケートの内容を見ても理解度の違いや最低限必要なSideBooksとLoGoチャットの必要機能の再確認勉強会オンライン（Zoom）の再研修 ZOOM名前の変更 画面共有等活用できる便利機能の講習会 iPadネームの変更、AirDrop、iPadへ個人メールアドレス追加、等Wi-Fiのみでなくモバイルデータ通信もできれば屋外で使用でき活用範囲も広がる (小平はデザリング対応していますのでこのままでもよいですが)
佐々木博子	リーダー提案で良いと思います。
小林 真一	リーダー提案の内容に賛成します
市瀬 芳明	アエ説明の通りでいいと思います。

【課題2：データのダウンロード・印刷について】

提案内容

ペーパーレス会議システムのデータファイルの印刷やダウンロードは技術的に可能です。
しかし、議員の自宅等のPCやIT環境によって、対応等が変わってきます。以下の点を踏まえて、今後進めたいと考えています。

ア 研究会メンバーをモデルとして試験してみる。
イ 試験のうえで、上記の課題1のエ、第4部のような研修機会を設定する。
ウ 試験のうえで、研修までは不要と判断した場合、周知方法について提案等する。

メンバー議員の意見

岡田 倫英	意見なし
小平 彰	印刷は必要 (設定がわからなければ個別対応が必要?)
佐々木博子	リーダー提案で良いと思います。
小林 真一	・リーダー提案の内容に賛成します
市瀬 芳明	実際に課題1エの通りやっただ方が良いと思うので、試験をする期間が取ればですが、期間的な余裕が無いようなら研修だけでもいいと思います。 ☆端末とプリンターの設定が難しい位では?

【課題3：私用・公用の整理について】

提案内容

検討を要する事項として、「議会機能の維持・強化」といった視点を持ちながら、中長期的に研究していくことが望ましいということを提言する。

メンバー議員の意見

岡田 倫英	<p>[短期的視点]</p> <ul style="list-style-type: none">・取り扱い注意資料(非公表資料)の扱いについては紙資料でもタブレット端末上でも違いはない。あらためて語るほどでもないが、公職としての良識、倫理観で臨むべき。・タブレット機器自体については議会活動、議員活動の範囲内で前向きに活用していく。ただし[私的行動において][他者の目に触れる]状況にあっては良識、倫理観と照らして都度判断する。・現在搭載しているアプリの中には決済を伴うものがあり、個々の判断で活用して良いか迷う場合がある(例:ブックアプリ。活用しようとする「飯田市議会」アカウントでの決済を求められるようになっている) <p>[中期的視点]</p> <ul style="list-style-type: none">・会議システム(サイドボックス)を私有PC等と同期できるようアカウント設定する可能性は今後検討する余地はありそう。既にロゴチャットを私有スマホと同期している例があり、運用上の課題(情報漏洩等)は少ないと考えられる。 <p>[長期的視点]</p> <ul style="list-style-type: none">・現行のiPad Proが数年後に更新期を迎える際、引き続き執行機関側から貸与される保証はない。その折、議員個々の私有PCに会議システムを同期設定する
-------	---

	<p>可能性は大いに考えられる。具体的に検討着手する際には以下の項目等の課題整理が想定される。</p> <p>①議員個々に私有PCの所有を義務づけることになるか(ノート型PCの所有)</p> <p>②セキュリティ対策に最低限必要なソフトを導入するとして、費用を議員個々に課すことになるか</p> <p>③機種を選択は個々の任意になると考えられる。一方で議場、委員会室の机の大きさと照らし合わせると、物理的大きさの観点から一定の条件付けが必要になるか</p>
小平 彰	<p>1. 議会iPadは、公私のモラルをきちんと個人が行い使用する。必要なアプリ等は、議会事務局で把握し管理。</p> <p>2. BYOD「Bring Your Own Device」、個人が所有するデバイス端末を使用する方法もあり、維持コストはメリット。セキュリティ、ウィルス対応等必要で、まだハードルは高い。</p>
佐々木博子	リーダー提案で良いと思います。
小林 真一	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー提案の内容に賛成します ・会派の考え方として、議員活動という点で公務・政務がある、この部分については議員活動というくくりの中でタブレットの活用は必要と考える。(Zoomなどの公務・政務共に活用していく上で必要なアプリのインストールはしても良いと考える) ・一方で私用での有料コンテンツ(動画や音楽配信)などのアプリ等のインストールについては検討が必要と考える
市瀬 芳明	説明の通りでいいと思います。